

生分解性プラスチック 生分解推移

牧村プラスチック工業(株)

社内の花壇で生分解性プラスチックを分解してみた
条件：2024年9月上旬～2025年2月下旬（冬）、培養土＋水



0日
9/9



16日後
9/25



30日後
10/9



60日後
11/8



172日後
2/28



微生物が分解

試験開始時は気温が高く(35度)生分解はかなり進行しひび割れ、もろさを確認したが気温が低くなると分解速度はゆっくりとなった。気温、湿度の気候や土壌の影響が大きいと思われる。172日後は小型昆虫がハンガーにたくさんまとわり付いている状態であった。